

道徳

第3学年

呉市立広南小学校

指導者 T1 名賀 春佳

T2 山崎 聖子

主題名

みんなの使う物

教材名

黄色いかさ（東京書籍）

内容項目

C-11 『規則の尊重』

本単元で育成する資質・能力

思考・表現

協力・協働

1 令和5年10月2日（月） 第6校時

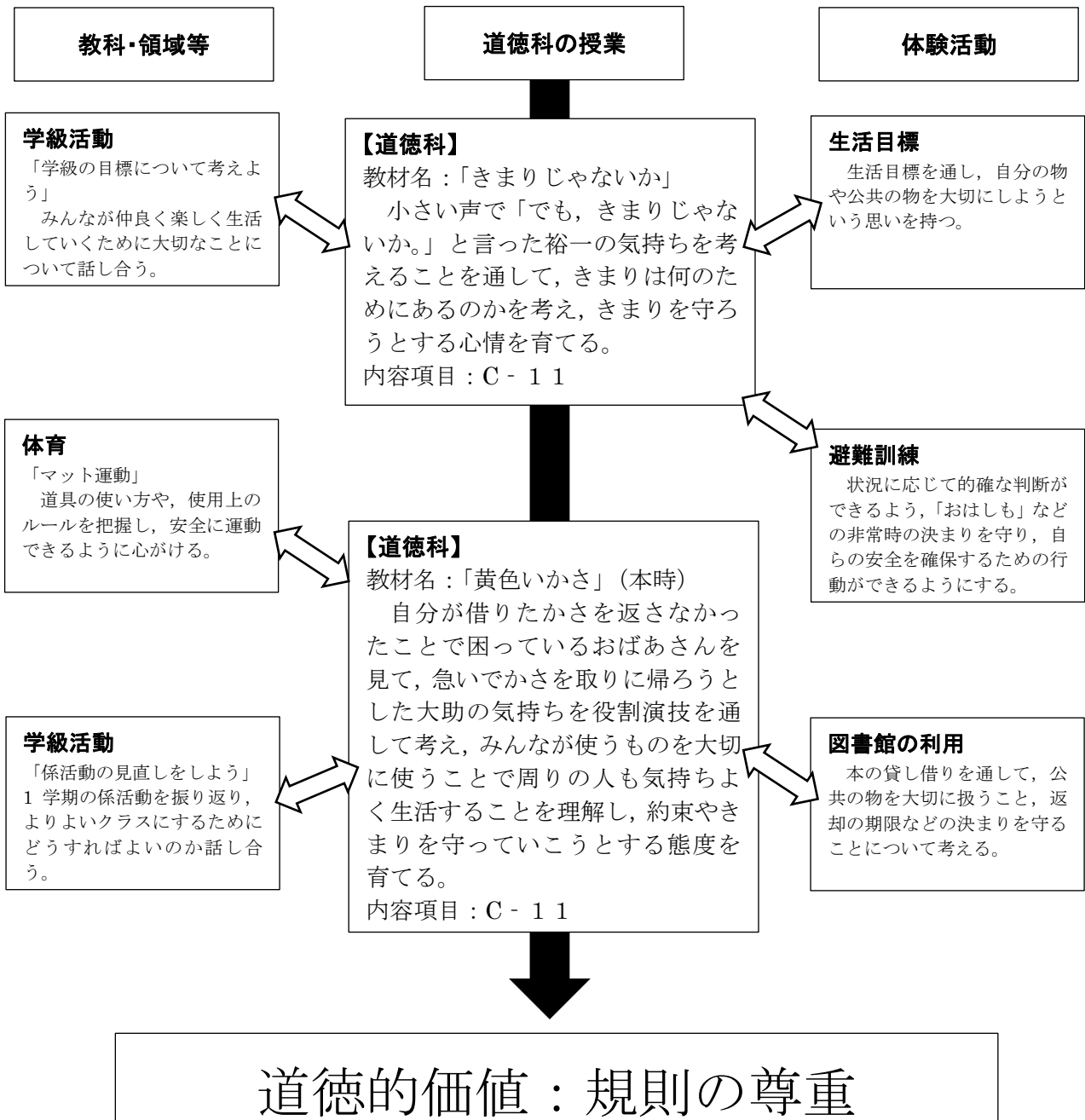
2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、事前のアンケートで「学校や地域で決まりやルールを守って生活していますか」という質問に対して、14人の児童（とても：12人，まあまあ2人）全員が肯定的な評価であった。決まりやルールを守らないといけない意識はあるが、実際の生活の中では、トイレのスリッパを並べられていなかったり、みんなが使う掃除道具やボールを乱雑に使ったり、手洗い場がきれいに使えていなかったりなどの実態も見られる。なんのために決まりやルールがあって、それを守らないとどうなるか、誰にどんな迷惑をかけるのかというように具体的なイメージを持たせることで、決まりやルールの意義、守ることの良さに気付かせたい。
- 本主題は、3学年の指導内容C-（11）「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。」をもとに設定したものである。この段階においては、気の合う仲間や集団の中にきまりをつくり、自分たちの仲間や集団及び自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向がある。また、一人一人が身近な生活の中で、約束や社会の決まりと公共物や公共の場所との関わりについて考えることは少ない。そのような発達の特性を生かし、一般的な約束や社会のきまりの意義やよさについて理解し、それらを守るように指導していくことが大切である。さらに、社会集団を維持発展する上で、社会生活の中において守るべき道徳としての公德を進んで大切にす態度にまで広げていく必要がある。特に、集団生活をする上で、一人一人が相手や周りの人の立場に立ち、よりよい人間関係を築くことや、集団の向上のために守らなければならない約束やきまりを十分考えることが必要である。
きまりを守ることは、身近な集団におけるよりよい人間関係づくりや人間関係における規範意識について考えさせるためにも重要なことである。人と人が仲間をつくり、よりよい人間関係を形成する上では、自分の思いのままに行動するのではなく、集団や社会のために自分が何をすればよいのか、また、自分に何ができるのかを考え、進んで約束やきまりを守ることができる学級づくりを目指したい。
- 本教材は、駅の改札口にある、誰でも自由に使える黄色い傘が、心ない人たちによって返されないままになっている。大助もその一人であった。返さなければいけないと分かっていつつ何日かたったある雨の日、駅でおばあさんが困った様子で立っている。改札口には黄色い傘が1本もないことを知り、大助は急いで家に向かって走りだす。大助がおばあさんの困る姿を見て、自分の行為を反省するという話である。
指導に当たっては、導入で、学校の中にあるみんなが使うものを想起させ、公共のものが散らかっている様子を見て、「みんなが使うものがなぜ大切に使われないのか」について当事者としての意識を持たせながら本時のめあてにつなげていく。
展開前段では、みんなが使うかさを借りてぬれずにすんだのに、いつまでも返さない大助の気持ちに共感させるために、自分たちの生活を想起させながら考えさせる。
中心発問では、黄色い傘を返さなかったことで、おばあさんに迷惑をかけてしまった大助の思いを想像させ、大助とおばあさんとの役割演技を通して、みんなが使う公共物を利用するときに、自分の

ことしか考えていなかったことに気付かせたい。

終末の振り返りでは、子供たちが公共物を大切に使ったり、決まりを守っている様子を提示しながら、本時のねらいを価値づける。

3 他の教育活動との関連



4 本時の学習

(1) 本時のねらい

自分が借りたかさを返さなかったことで困っているおばあさんを見て、急いでかさを取りに帰ろうとした大助の気持ちを役割演技を通して考え、みんなが使うものを大切に使うことで周りの人も気持ちよく生活することを理解し、約束やきまりを守っていこうとする態度を育てる。

(2) 学習の流れ

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点(・) (☆評価の観点)
導入 (5分) 課題意識を持つ	1 課題意識を持つ。 ○写真を提示し、みんなが使うものについて話し合う。	○みんながいっしょに使うものにはどんなものがありますか。 ・ボール ・傘 ・トイレ ・図書室 ・教室の本 ○ちらかっているボールやスリッパを見て、どう思いますか？ ○みんなの使うものが大切につかわれないのはどうしてでしょうか。	・写真などの提示物を用意し、学校の中だけでなく、普段の生活の中で利用したことのある公共物を思い出させる。 ・ボールやトイレのスリッパが散らかっている写真を見せ、課題意識をもたせる。
		みんなが使うものが大切にに使われないのはなぜだろう。	
展開前段 (25分)	2 教材「黄色いかさ」を読んで話し合う。 ○かさを借りて雨にぬれずに帰った大助の気持ちを考える。 ○お母さんに注意されてもかさを返さなかった大助の思いを考える。 ○おばあさんの話を聞いた大助の思いを考える。	○かさを借りて、ぬれずに帰った大助は、どんなことを思ったでしょう。 ・かさがあって助かった。 ・ぬれずにすんで運が良かった。 ・みんなが使える傘があって便利だな。 ・誰でも借りていい傘だなんて親切だな。 ○お母さんにきつく言われてまで、なぜ大助は、借りたかさを何日も返さなかったのでしょうか。 ・まあいっか。 ・面倒くさいな。 ・そのうちに返せばいいや。 ・一人ぐらい返さなくても大丈夫だろう。 ◎黄色いかさが1本もないことをおばあさんから聞いた大助はどんな気持ちになったのだろう。	・自分たちの生活の中で、突然雨が降ったときのことを想起させ、大助の気持ちに共感させる。 ・大助と同じような経験が無いか問いかけ、周りの人のことを考えられていない大助の気持ちを考える。 ・みんなで使うものを自分の都合で返しに行かず、初めて自分のやったことで

<p>学びを深める</p>	<p>個人思考 (ノート) ↓ 役割演技 ↓ 全体交流</p>	<p>・黄色い傘を返しておけばよかった。 ・おばあさんに悪いことをしてしまった。 ・ぼくがかさを返しておけば、おばあさんは困らなかった。 ・みんなが使う傘なのに、自分勝手だった。 ・みんなが使うかさだということを考えてなかった。 ・他の人 (次に使う人) にも迷惑をかけてしまったのかもしれない。</p>	<p>他の人に迷惑をかけてしまったことに気付いた大助の気持ちを役割演技を通して実感させ、本時のねらいに迫ることができるようにする。</p>
<p>展開後段 (10分)</p>	<p>3 本時のまとめをする。</p>		<p>・役割演技を通して、みんなが使うものについて気付いたことを発表させ、本時のまとめにつなげる。</p>
<p>学習したことを振り返る</p>	<p>・「自分ひとりくらい」と考えている。 ・次に使う人がいることに気付いていない。</p>		<p>・自分以外の人のことも考えることが大事。 ・みんなが使うものはみんなのためにある。 ・大切に使うとみんなが助かる。</p>
<p>終末 (5分)</p>	<p>4 今までの自分を振り返る。 5 教師の説話を聞く。</p>	<p>○今日の学習や今までの生活を振り返って考えたこと、これからに生かしたいことを書きましょう。</p>	<p>☆これまでの自分を振り返り、約束やきまりを進んで守っていこうとする意欲をもつことができる。 (ノート) (意欲)</p> <p>・教師の説話により、子ども達が今までに公共の物を大切に利用していたことを紹介し、約束やきまりは、みんなが安心して過ごすために必要なものであることに気付かせ、約束やきまりを守っていこうという意欲を持たせる。</p>

5 板書計画

The board plan is a hand-drawn diagram on a chalkboard background. It features several text boxes and illustrations:

- Top Left:** A vertical list: "自分" (Self), "次の人" (Next person), "みんな" (Everyone), "みんなが使うもの" (Things everyone uses).
- Top Right:** A vertical list: "黄色いかさ" (Yellow umbrella), "かさをかりた" (Borrowed umbrella), "めれすにすんだ" (Got it), "困った人が使えよう" (So that people in trouble can use it).
- Center:** A large cloud-shaped box containing the text: "みんなが使うもの" (Things everyone uses), "便利" (Convenient), "生活するの" (Living), "楽" (Easy).
- Bottom Left:** A vertical list: "みんなが使うもの" (Things everyone uses), "便利" (Convenient), "生活するの" (Living), "楽" (Easy).
- Bottom Center:** A large cloud-shaped box containing the text: "みんなが使うもの" (Things everyone uses), "便利" (Convenient), "生活するの" (Living), "楽" (Easy).
- Bottom Right:** A vertical list: "便利" (Convenient), "生活するの" (Living), "楽" (Easy).